

2026 年 8 月 18 日

日本赤十字社救急法短期講習会に参加して

林 但

17 日(月)猿島公園専門ガイド協会の定例会(総合福祉会館5階第二研修室)の前に、表記を行った。ガイド協会では年間計画の中に、専門性ある歴史軍事的なことや植物、ハチ他への対応を行っている。安全面では救急法の講習会や熱中症、危険予知訓練(KYT)他を行っています。

今回は救命手当(心肺蘇生と AED)について、日本赤十字社神奈川県支部 救急法指導員;細川順一氏、細川章子氏から学びました。学科部分では、赤十字救急法や心肺蘇生、AED の使い方について説明を受けました。

次に実技では、心肺蘇生、AED を使って一連の一次救命処置を役割分担(A 救助者:発見者、B 協力者(AED 手配)、C 協力者(119通報)、D 救助隊)を交代しながら 4 回行いました。手順、観察と確認のための標準的な呼称、観察と確認・手当の動作です。

<参加して感じたこと・気づいたこと>

- ① 救急車は連絡をしてから全国平均で約 10 分かかる。発見した人が早い対応が必要である。
・救命の可能性と時間の経過から、居合わせた人が救命処置を行っているとい 10 分で 20%程度
- ② AED については、音声でアナウンスされるため聞きながら対応していく。
- ③ どこに AED が置かれているか、確認しておくことが大切。
- ④ 6 月に日本赤十字社本部を別の団体で見学したこともあり、親しみをを感じる。

<配布資料>

- ① 小冊子「知っていれば安心です 心肺蘇生と AED」
- ② 一次救命処置の標準実技
- ③ 赤十字 NEWS 8 月号

